



家庭集会

東京八王子北 RC パスト会長 木村 悦子様

本日のテーマは「家庭集会について」です。皆様のクラブでも既に行われているかと存じますが、その歴史や意義について、改めてお話しさせていただきます。

ロータリーの起源と徽章に込められた意味

ロータリーの歴史は、今からちょうど 120 年前に遡ります。アメリカ・シカゴの弁護士ポール・ハリス氏が、3 人の友人と共に、一つの業種につき一人の会員を原則とする「相互扶助の親睦クラブ」を創立したのがその始まりです。

当時、彼らは特定の会館や会場を持たず、会員それぞれの事務所やホテルなどを点々と回りながら会合を開いていました。この「回り持ちで (rotate) 会う」というスタイルから、「ロータリー」という名前が付けられたと伝えられています。皆様が胸につけていらっしゃるロータリーの徽章 (バッジ) は、まさにこの「回り歩く」様子を象徴しており、車輪がモチーフになっています。この歯車のギザギザですが、実はこれは 24 個あります。これは我々のクラブの象徴ですので、ぜひ覚えておいていただきたい豆知識です。歯車と 6 本のスポーク、そして円滑に回転するための軸穴で構成されており、活発に活動するクラブの姿を表現しています。

家庭集会 (炉辺会) の重要性

ロータリー創立の原点は、何よりも「親睦」と「相互扶助」にありました。心を開いて語り合える仲間が集うことが、その第一の目的だったのです。しかし、週に一度、1 時間程度の定例会だけでは、どうしても表面的な付き合いになりがちです。会の運営方針や卓話、行事の報告といった公式な議題が中心となり、会員一人ひとりの人柄や趣味、悩みなどを深く知る機会は限られてしまいます。そこで例会とは別に、より親密なコミュニケーションを図る場として生まれたのが「炉辺会」すなわち現在の「家庭集会」です。「炉辺会」という名称は、かつて暖炉 (炉) の辺りに集まって語り合ったことに由来します。人間というものは、不思議と少人数で集まると心が軽くなり、口も軽くなるものです。そこに美味しいお酒や食事があれば、なおさら話が弾みます。家庭集会はそうしたリラックスした雰囲気の中で、個人の趣味や関心事について気兼ねなく語り合うことを目的としています。

このような非公式な集いを通じて、これまで知らなかった会員の一面を発見し、互いの人柄や価値観を深く理解することができます。そうして育まれた親睦は、クラブ全体の絆を強め、ひいては例会そのものにも活気をもたらすのです。

もちろん、ロータリーは単なる「仲良しクラブ」ではありません。あくまでも、会員一人ひとりが人格を高め、社会に奉仕することが最終的な目標です。しかしその土台となるのは、会員同士の強固な信頼関係であり、家庭集会はそのための極めて有効な手段であると私は考えております。

家庭集会の進め方とミニ体験

家庭集会の運営方法は、各クラブが自由に決めることができます。人数は 5~6 人程度の小グループが話しやすく、時間や曜日も問いません。お昼でも夜でも、会員の都合の良い時に開催すればよいのです。そして家庭集会への出席は、例会出席と同様に扱われます。議題も、クラブが抱える課題について真剣に議論するのも良いですし、純粋に趣味について語り合うだけでも構いません。例えば、私たちのクラブでは、最初に 30 分から 1 時間ほど議題について話し合った後、すぐにお酒を酌み交わしながら懇親の時間に移ることが多いです。お酒が入ると、かえって活発な意見交換ができることもあります。

本日は、この家庭集会の雰囲気を少しでも体験していただくため、皆様にもミニ家庭集会を行っていただきたいと思ひます。今座っていらっしゃる円卓を一つのグループとし、それぞれリーダーを一人決めてください。そして「ご自身の趣味」をテーマに、自由に語り合ってみてください。10 分後に、各グループのリーダーの方から、どのようなお話が出たか、簡単にご報告いただければと思います。

(各テーブルでのディスカッション)

それでは各グループからのご報告をお願いいたします。

角田会員：私も以前親睦委員長をしていましたが、こちらのグループは親睦でまとまっています。夜の街へ行って女性と喋って親睦を深めています。

日根野会員：こちらのグループでは、神保会員がピアノを修行中で、木宮会員はドラムを嗜んでいて、バンドを作りたいところですが、私は残念ながら楽譜が読めないの、喉 (歌) で参加したいと思います。

西村会員：加藤会員がすごい魚を釣ってきて皆にご馳走してくださるそうです。また松島会員、王さんは読書好き、高山会員は料理、本格的な趣味をお持ちです。私はオペラ鑑賞や絵画鑑賞、武道も始めました。

和田会員：牛島会員が、料理が得意で今朝も 5 時起きで奥様のお弁当を作られたということで、木村幹事はピアノを弾かれるそうです。それに合わせて土居会員にカラオケを歌っていただき、私と会長はお酒を飲んで楽しむ、という構成で盛り上がりました。

皆様、ありがとうございました。このように、ほんの短い時間でも、互いの趣味や意外な一面を知ることによって親近感が湧いたのではないのでしょうか。こうした家庭集会での交流から、同好会が生まれたりクラブの活性化に繋がる新しいアイデアが生まれたりすることも少なくありません。お茶の水 RC の皆様も、歴史と伝統ある素晴らしいクラブでいらっしゃいますが、ここにさらに家庭集会のような和やかな交流が加わることで、ますます発展されるのではないかと感じました。

本日は拙い卓話ではございましたが、皆様のクラブ運営の一助となれば幸いです。ご清聴いただき、誠にありがとうございました。